

鳥羽市の豊かな歴史遺産と、文化財の調査や保全を担当する文化財専門員の活動を紹介します。

文化財  
コラム  
Vol.9

# 歴史遺産語り

鳥羽のきらり

教育委員会生涯学習課 TEL 25-1268



知られざる  
鳥羽の魅力を  
たっぷり  
お届けします!

## 旧鳥羽町の時代に 建てられた近代建築、 旧鳥羽小学校校舎

旧鳥羽小学校校舎は、神戸を中心活躍した建築家・清水栄二が設計し、昭和4年に竣工した、コンクリート造りの建物としては県下最古級の建物です。校舎は中央に玄関があるE字形の平面を有し、正面にアーチ窓と付柱が用いられ西洋の様式を取り入れたデザインが施されています。3階には講堂があり、舞台の



旧鳥羽小学校の外観

中央奥には、戦時中に天皇陛下の写真(御真影)を納めていた奉安庫の跡が残っており、貴重です。

また、正面玄関の上には翼と碇をモチーフにした彫刻が飾られており、鳥羽小学校の校章と思われるのですが、実は旧鳥羽町時代の町章なのです。今の鳥羽市の市章もこれが基になっていると思います。町章のデザインも格好がいいですよ。

また、旧校舎の建築には真珠王の御木本幸吉も協力し、彼の告別式もこの建物の講堂で行われており、鳥羽の近代史を語るうえでも重要な建物です。教育委員会では、これまで校舎の保存のため、国の補助事業を活用して耐震改修・外壁改修を少しずつ進め、昨年度に完了しました。今後については、活用方法や使用範囲などを検討し、3

階の講堂を中心に段階的に整備していきたいと考えています。

旧校舎の保存にご理解とご協力をお願いします。



正面玄関上の町章



町報に描かれた町章



鳥羽市の文化財

鳥羽市が誇る四季折々の「鳥羽」を漁協さんにご紹介!

7月

旬の  
とば

# 鳥羽とば

vol. 19

観光商工課観光係 TEL 25-1157  
農林水産課水産係 TEL 25-1167



あらめ

海岸に漂着したものの回収が中心となっています。昨年の鳥羽海域では、9月上旬～11月上旬にかけての刈り取りで1トン、漂着したもので4～5トンが出荷されました。全国生産量のほとんどを三重県が占めるあらめは、鳥羽志摩地域の特産品として古くから親しまれ、伊勢神宮にも奉納されています。

あらめは、鳥羽志摩を中心とした海域で夏に採れる海藻です。太平洋沿岸の岩場に育ち、海中に森のような藻場を形成します。この藻場は、稚魚のすみかとなるほか、アワビやサザエの餌にもなり、海の生態系を支える重要な役割を担っています。寿命は約4～6年で、長さは1～3mほどにまで成長します。

また、採取の方法としては、以前は7～9月頃に海女による潜水での刈り取りが主でしたが、近年は藻場を守るため、

乾燥あらめや佃煮は鳥羽マルシェでも販売されています。鳥羽志摩の荒波と真夏の太陽に育まれた「あらめ」をぜひご賞味ください。